

# UTMCPress

## - Sample Cover -

(マニュアルつき)



ウィキペたん-ウィキペディアの萌え擬人化、というやつ

## 各種商標と著作権の取り扱いに関する注意

UNIX は The Open Group の OS 名です。

Solaris は Sun Microsystems, Inc. の OS 名です。

Linux は Linus Torvalds 氏の手による OS です。

BSD UNIX とはカリフォルニア大学バークレイ校 (UCB) で開発された Berkley Software Distribution 版に端を発する OS 群を指す表現です。

Apple, Macintosh, MacOS は米国 Apple Inc. の登録商標です。

MS-DOS, Windows95, Windows98, WindowsNT, WindowsMe, Windows2000, WindowsXP, Windows Vista,

MASM (Microsoft Macro Assembler), MS-VB (Microsoft Visual Basic),

MS-C/C++ (Microsoft C/C++), MS-VC/C++/C# (Microsoft Visual C/C++/C#) は Microsoft の、

CodeGear C++, Turbo C/C++, TASM (Turbo Assembler),

Turbo Pascal, Delphi, Kylix は CodeGear の、

N88-BASIC(86) は NEC の、

Z80 はザイログの、

8086, i386, i486, Pentium, Pentium Pro, Pentium II, Pentium III, Pentium 4, Pentium M, Celeron, Core Duo, Core 2 Duo, Core 2 Quad は Intel の、

PowerPC は IBM の、

それぞれ商標となっております。その他、プログラム名、プロセッサを始めとする各種の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。本文中では “TM”、並びに “®” マークは明記しておりませんがその旨ご了承下さい。

本誌に掲載される各記事の著作権は、それぞれの記事の作者が保有します。各種プログラムのソースコードの著作権はプログラムの作者が保有します。「PDS」または「パブリックドメイン」と明記されていないものについては、個人で使用する目的以外のための無断複製は著作権法により禁止されています。

\* 卷頭言 \*

# ▷ もくじ ◀

<b>1</b>	<b>UTMC Press Manual —Anonymous</b>	<b>1</b>
1.	はじめに .....	1
2.	執筆者向け .....	2
3.	編集担向け .....	6

# 1

# UTMC Press Manual

\$ man utmcpress

Anonymous (名無しさん)

---

## 1. はじめに

### 1.1 これはなに？

これは記事執筆のマニュアル的存在です。

記事を執筆する前に一読しましょう。

### 1.2 動作環境について

とりあえず学校の Mac 端末で作業をすることを想定しています。Linux など UNIX 系 OS ならばほぼ問題ないかと思われますが、Winodws などでは若干やり方が変わる場合があります。ご了承ください。

### 1.3 構成

「執筆者向け」と「編集担向け」の二つに分かれています。記事を書きたい人は「執筆者向け」を参考に書いていきましょう。

編集担は、「編集担向け」だけでなく両方の解説を読んでください。

## 2. 執筆者向け

### 2.1 記事の書き方

#### 2.1.1 TeX のおべんきょ

TeX が分かることが前提です。分からぬ場合には適当な解説本を参考に勉強しましょう。

#### 2.1.2 記事を決める

まずは何を書くか、記事の内容を決めます。記事については以下の Orios 先生基準<sup>\*1</sup> に従うのが賢明でしょう。

検閲を通過する記事は以下の式で表される。

$$[W \cup L]$$

ただし、

<i>W</i>	部誌として許される記事
<i>L</i>	合法的な記事

具体的な内容は以下の通り。

- エロ  
刑法（わいせつ物陳列罪）・児童ポルノ禁止法に抵触しない限り
- グロ  
なし
- 著作権・肖像権  
同人誌基準
- 名誉毀損・侮辱  
刑法基準何かを正当に批判する場合は充分な根拠と論理的展開が必要です
- 差別的記事  
現行法では特定の集団（個人ではない）を差別する言論を発表しても罰せられません
- 政治的宣伝  
なし
- 宗教勧誘  
なし
- 営利活動  
なし
- 犯罪の助長  
なし

#### 2.1.3 記事の英語表記を決める

記事名の英語表記<sup>\*2</sup> を決めてください。

---

<sup>\*1</sup> 一部改訂しております

<sup>\*2</sup> 正規表現で表現するならば、[\_0-9a-zA-Z]+ など

#### 2.1.4 環境整備

決まつたら、

```
articles/sample.tex
```

を、

```
記事名の英語表記.tex
```

にリネームします。

さらに、

```
preview.tex
```

内の最後の方にある、「sample」も記事の英語表記に変更します。

#### 2.1.5 書く

後は書くのみ。今リネームしたファイルに思いの丈をぶちまけてください。

### 2.2 エンコーディングについて

近年の国際化の流れに従い、文字エンコーディングは UTF-8 で統一しました。学校の Mac でも、

```
$ echo $LANG  
ja_JP.UTF-8
```

と、UTF-8 をデフォルトエンコーディングとして採用しているようです。ですので、Unicode に対応したエディタでの編集をお願い致します。

### 2.3 画像について

画像を記事中に入れる場合には、

```
images/記事名の英語表記
```

というディレクトリを作成し、この中に画像ファイルを入れていきます。

#### 2.3.1 画像形式について

画像のファイル形式は PNG, JPEG, GIF などいろいろありますが、これらの画像形式は環境によってはキチンと認識されないことがあります。TeX 標準の画像形式は EPS であり、これならばどの環境でも読めるはずですので、EPS 形式で埋め込むことを推奨します。

EPS 形式に変換するには、

```
$ convert hoge.jpg hoge.eps
```

のようにします<sup>\*3</sup>。

---

<sup>\*3</sup> うまくいかなかった場合には EPS でなくとも構いません。そこら辺は編集担当の仕事だと思うので…

### 2.3.2 ファイル名指定

記事ソースファイルの一番初めの、

```
\$graphicspath{{../images/sample/}}
```

を指定した効果で、ファイル名を直接指定するだけで画像の埋め込みができます。

```
\begin{center}
\includegraphics[width=.3\textwidth]{tiger.eps}
\end{center}
```

とすると、



といった具合に表示されます。「..../images/sample/tiger.eps」などと指定する必要はありません。

## 2.4 ソースコードについて

ソースコードを記事中に書きたい場合があるかと思います。短い場合には **TEX** ソース中に直接書いてしまえばよいのですが、一ページを超えたあたりで分離したくなります。そこで、ソースコードを外部のファイルから読み込む際には、「sources/『記事名の英語表記』」ディレクトリを作成し、その中にソースコードを突っ込んでください。

```
\inputsource[caption=C言語によるQuineの例,label=C_quine]{C}{hello.c}
```

といった感じでソースコードを出力できます。

ソースコード 1.1 C 言語による Quine の例

```

1  /*
2   * C 言語による Quine。
3   * コンパイルし実行すると、このソースコードと同じものが標準出力に出力される。
4   */
5  int main(){char *s="int main(){char *s=%c%s%c;printf(s,34,s,34);}" ;printf(s,34,s,34);}
```

## 2.5 コンパイル

記事を書き終わったらコンパイルします。

```
$ make preview
```

でプレビューを見ることができます。

表紙や奥付を含めた正式なものを出力するには、

```
$ make showdvi
```

または、

```
$ make showpdf
```

とします。

dvi や pdf のビューアが嫌ならば、「Makefile」の最初らへんをいじるか、

```
$ make showdvi DVIVIEWER="your_dvi_viewer"  
$ make showpdf PDFVIEWER="your_pdf_viewer"
```

とします。

Windows な人は、

```
platex -kanji=utf8 -output-directory=tmp -interaction=nonstopmode preview.tex
```

をコマンドプロンプト上で実行してください<sup>\*4</sup>。すると「preview.dvi」なるファイルができるので、DVI ビューアがインストールされているなら、ダブルクリックで見れるはずです。

## 2.6 原稿提出

原稿が書き上がったら原稿を提出します。面倒ならばディレクトリ内のファイルを全部まとめて ZIP なり 7-Zip なりにまとめて提出してもよいのですが、弄っていないファイルとかもあって無駄なので、最低限以下のファイルをアーカイブしてください。

- ・「articles/記事名.tex」
- ・「images/記事名」 以下
- ・「sources/記事名」 以下
- ・「preview.tex」
- ・他に自分で追加・編集したものがあれば

---

<sup>\*4</sup> 複数回実行する必要がある場合があります

### 3. 編集担向け

#### 3.1 記事の処理の仕方

記事を集めた後に、印刷できる状態にするための手順を説明します。

その前の段階<sup>\*5</sup>については過去の ML を参照するなり、IRC で質問するなりしましょう。

…といつてもほとんど仕事なかつたり。ともかく原稿をもらったらテンプレートないにマージして、「utmcpress.tex」を編集して、コンパイルが通るか確認。確認できたら、

- 画像が正常に表示されているか
- ラベルはキチンと解決されているか (??などになっていないか)
- 内容は記事にできるものか
- 誤字脱字・その他不備はないか

などなどを確認していきます。

まあ編集担に任命された時点である程度はできる人なのだと思うので、あまり細かいことは言いません。

#### 3.2 ディレクトリ構成の理念

理念というほど明確な何かがある訳ではありませんが…

- articles  
各記事の TeX ファイルを放り込むところ
- documents  
編集者向けの(旧)ドキュメント
- images  
画像ファイル置き場
- includes  
記事に属さない TeX ファイル(表紙、奥付…等々)
- out  
コンパイル済み dvi ファイルや pdf の隔離室
- sources  
記事にソースコードを含める場合、ここにそのソースコードを入れる
- tmp  
コンパイル中に出た各種一時データ(目次の情報など)とログファイルのお墓場

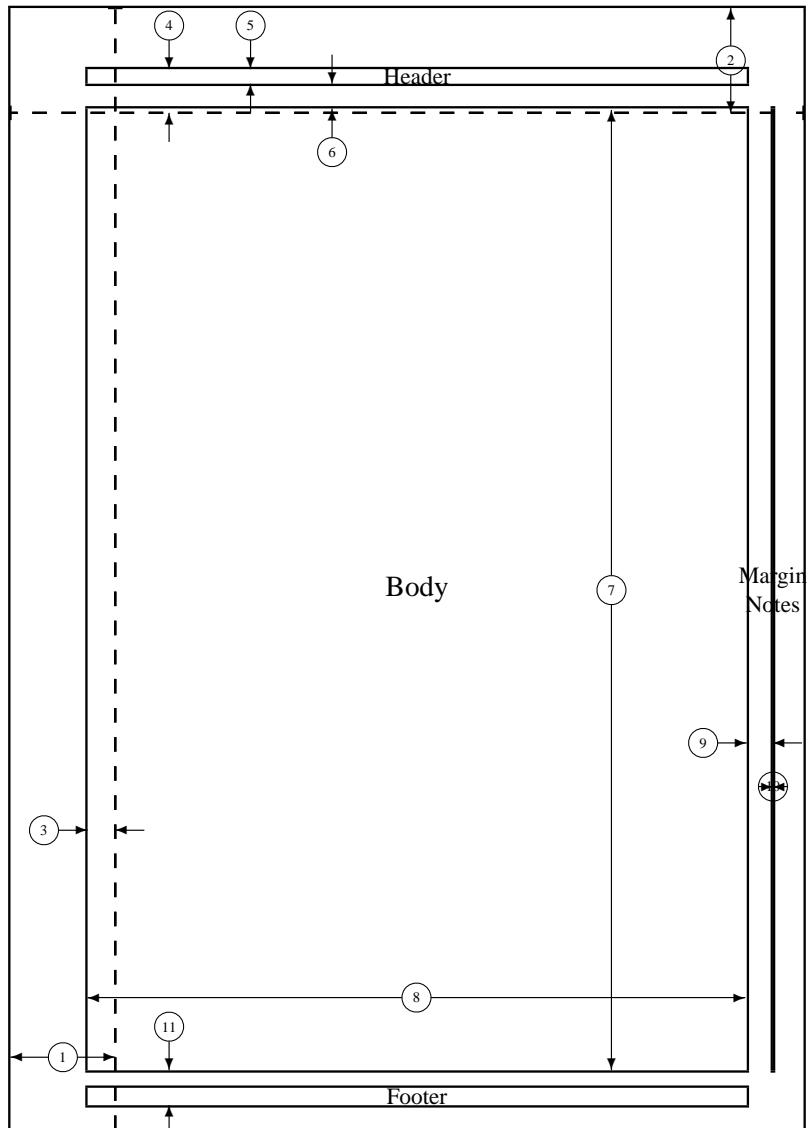
という感じ<sup>\*6</sup>。

---

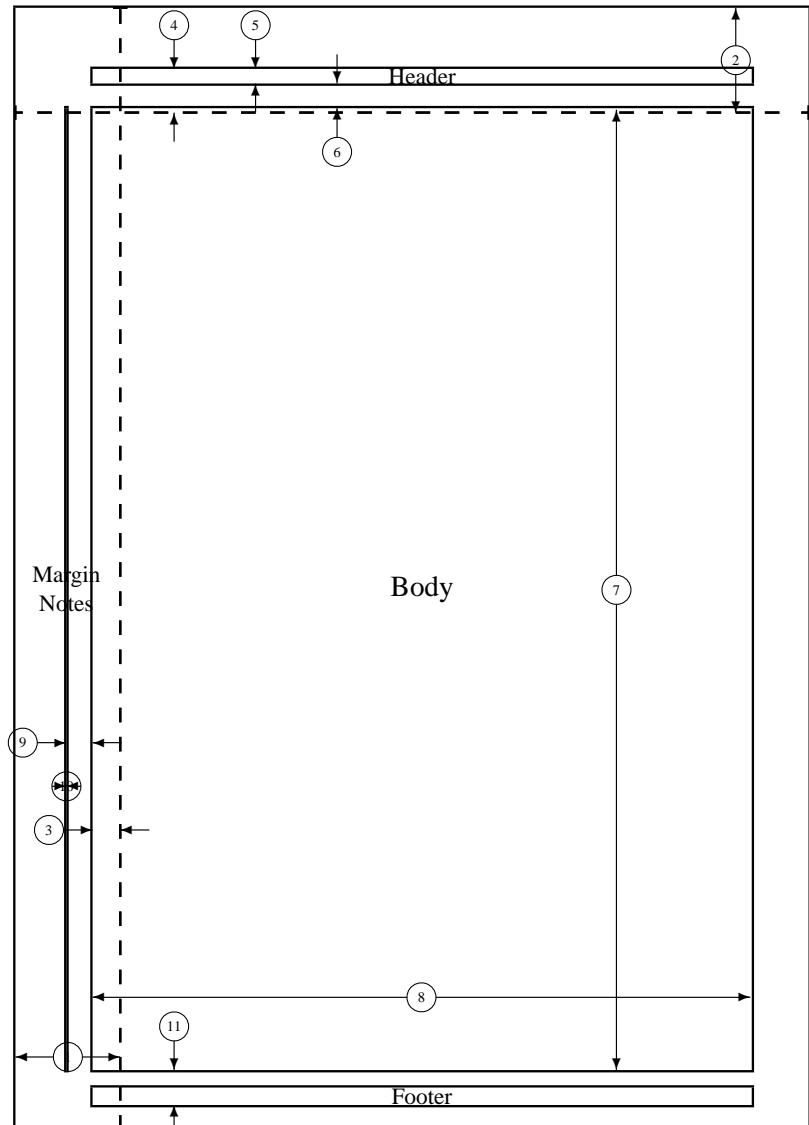
<sup>\*5</sup> 原稿を募集したりなんだり

<sup>\*6</sup> 思ったんだけど、これだとファイルの種類ごとにディレクトリを分離していることになるけど、そうじゃなくて、「articles/hoge/」とかいうディレクトリを作って、その中に全部つっこむ、という風にした方がいいかも

### 3.3 現在のレイアウト



1    one inch + \hoffset	2    one inch + \voffset
3    \oddsidemargin = -19pt	4    \topmargin = -30pt
5    \headheight = 10pt	6    \headsep = 17pt
7    \textheight = 661pt	8    \textwidth = 453pt
9    \marginparsep = 18pt	10   \marginparwidth = 0pt
11   \footskip = 24pt	12   \marginparpush = 16pt (not shown)
\hoffset = 0pt	13   \voffset = 0pt
\paperwidth = 545pt	14   \paperheight = 771pt



1 one inch + \hoffset	2 one inch + \voffset
3 \evensidemargin = -19pt	4 \topmargin = -30pt
5 \headheight = 10pt	6 \headsep = 17pt
7 \textheight = 661pt	8 \textwidth = 453pt
9 \marginparsep = 18pt	10 \marginparwidth = 0pt
11 \footskip = 24pt	\marginparpush = 16pt (not shown)
\hoffset = 0pt	\voffset = 0pt
\paperwidth = 545pt	\paperheight = 771pt

\* あとがき \*

Memo:

Memo:

# UTMC Press

9784101017



1929404000005

## -Back Cover-

UTMCCBN978-4-1-0101-7 C9404 ¥0E

定価（本体オープン価格 + 税）

(探せば見つかるマイナーキャラ編)

### UTMC Press 1年1月号

(○○部誌)

Habari ya mchand?

1年 1月 1日 初版印刷

1年 1月 1日 初版発行



**ubuntu**  
linux for human beings

編集 編集担当

表紙 絵師たん

印刷 UTMC 印刷局

発行所 東大マイコンクラブ (UTMC)

〒153-0041 東京都目黒区駒場3丁目8番1号

東京大学教養学部 学生会館303号

03(5454)4343(呼)

[support@komaba.utmc.or.jp](mailto:support@komaba.utmc.or.jp)

<http://www.komaba.utmc.or.jp/>

©1 UTMC

Printed in Japan

落丁・乱丁は残部のある限りお取り替え致します。